

学校便り～第41号～



誠実

感謝

勤勉

令和2年11月27日 県立鹿児島盲学校

URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/kagoshima-B/index.htm>
E-mail kamou@pref.kagoshima.lg.jp

一致団結 ～新たに描く鹿盲物語～

教頭 松木 伸子

去る令和2年10月17日(土)、秋晴れですがすがしい土曜日に、隔年おきに開催される文化祭が行われました。今年度はコロナ禍での開催となり、検温・消毒・ソーシャルディスタンス等はもちろん、参加者も保護者・兄弟姉妹・祖父母等に限定して行いました。

小学1・2年生の「はじめのことば」から始まり、オリンピックやリモート、新しい生活様式等、今年話題になっている題材で制作した劇のほか、中止となった九盲・全国弁論大会の発表や箏曲・吹奏楽の発表等、これまでの学習の成果を堂々と披露し、盛大な拍手をもらいました。

舞台発表の後は、高等部普通科の販売や専攻科によるあん摩やオイルのマッサージの実演もあり、初めて体験する保護者も「とっても気持ち良かったぁ～」と大満足していました。販売では、会場のセッティングや並び方、入り口や出口の方向などスーパー同様な形で行い、キラキラマスクホルダーやさつまいもはあっという間になくなるほどの大盛況でした。

開催する前は、大丈夫かな?心配だね?などと聞かれた声も、テーマ通りの「一致団結」で嘘のように消え、大成功を収めることができ、また一つ、鹿児島盲学校はコロナに負けない「大きな絆」を得た気がしました。まさしく創立118年、移転して10年目にふさわしく、そして、今日から始まる新しい鹿児島盲の物語に、これからも「乞う御期待あれ!」



小学部

10月1日～2日は、5、6年生の修学旅行でした。コロナ禍、県内クラスター発生で、実施が危ぶまれましたが、熊本県への計画を大幅に変更し実施しました。近代文学館・メルヘン館、水族館での触察や声や音を楽しむプログラム、桜島フェリーやタクシーを利用したの調べ学習や観光等、子どもたちは初めてのことに挑戦し、キラキラした笑顔で楽しむことができました。地元の自然や文化に触れ、友達や教師との絆を深め、学んだこと、発見等を文化祭で発表することもできました。最高の思い出と経験を、今後に生かしてほしいと期待します。



中学部

9月9日～11日の二泊三日で中学部修学旅行を実施しました。コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用の徹底、検温・手指消毒の随時実施、密を避けるために個室での食事やタクシーでの移動、見学先等で他のグループがいた場合の時間調整や予定変更を行いながら、すべての日程を実施することができました。

事故や怪我、病気をすることなく、無事に帰ってくることができ良かったです。また感染予防対策を意識しながらの楽しい修学旅行となり、思い出に残るものとなりました。



高等部(普通科)

9月18日に普通科の産業現場等見学と職場等見学が行われました。例年6月に実施している見学ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、2学期に延期して実施しました。生徒たちは、事前に公共交通機関やルートを調べたり、質問内容を考えたりして臨みました。それぞれの見学先では、就労に向けた各事業所の取組について説明を聞いたり、作業の様子を見学したりしました。また、ヘルスキーパーとして働く卒業生にインタビューをすることもできました。生徒たちにとって、働くことへのイメージを広げる良い機会となりました。



高等部(専攻科)

文化祭実演を終えて

新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小して実施された文化祭。例年は、あん摩、はり、オイルマッサージの実演を行っている保健医療科と理療科生徒。今回の実演は厳しいのではと心配していましたが、感染症対策を十分に行い実施することができました。

今年は、校内外での実習の多くが中止になっています。そんな中、全員で実施することができた文化祭での実演は、生徒にとってとても貴重な実習の場となりました。

新型コロナウイルスのために、いろいろなことが制限されてしまい戸惑うことも多いですが、できないことばかりを考えるのではなく、ひとつひとつの機会を大切に、これからの学校生活を充実させてほしいと感じました。